

三次市内のアスパラガス 出荷前進化

【平成 28 年 4 月 19 日掲載】

三次市内のアスパラガスは、これまで露地栽培が中心でしたが、現在では産地面積 27.5haのうちハウス栽培面積が4.2ha(平成 27 年実績)と、収量・所得が安定確保できるハウス栽培の面積が伸びつつあります。

北部農業技術指導所では、JA三次やJA庄原と連携しながら、ハウス栽培における収量・所得の更なる向上のため、早期出荷に向けた取組を進めています。具体的には、ハウス内の保温スケジュールや雪害・凍霜害対策について技術講習会を開催し、ハウス内の内張や小トンネルの展示ほを3カ所設置し、収穫時期と収量等の調査を実施しています。

このような取組に加えて、平成 28 年春は温暖な気候だったため、三次市内からのアスパラガス選果場への出荷は、例年よりも約10日早い平成28年3月14日からとなりました。4月に入った現在、市内のハウスアスパラガスは出荷最盛期を迎えています。

一方で、平成 28 年1月には雪害、3月下旬には霜害の被害を受けた生産者がおり、早期出荷に向けた対策について、さらに技術対策を図る必要があります。今後も関係JAと連携しながら早期出荷を行うための対策を検討・実施し、アスパラガスのハウス栽培による収量アップ・所得向上を目指していきます。



【内張展示ほの様子】



【出荷最盛期となったハウスアスパラガス】